



< ブラッシュアップ事業 発表会 >

イノベ地域の農業副産物利活用 による価値発掘プログラム

地域の価値向上に向けたブラッシュアップ事業

2024年 2月26日

HANDS合同会社

目次



1. 私たちについて
2. 実施内容
3. 今後の展望

1. 私たちについて

会社概要

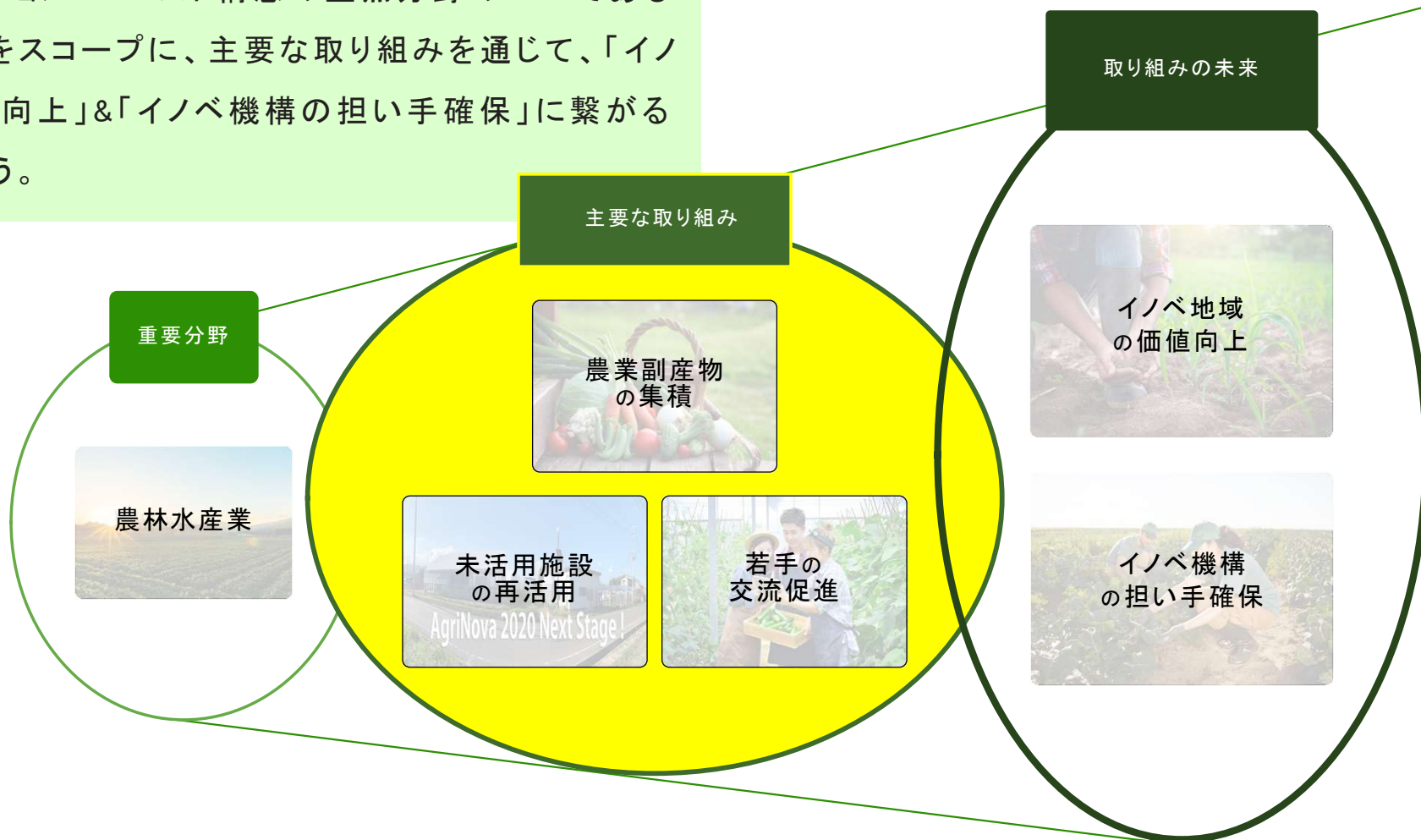
会社名	HANDS合同会社
創業	2021年 3月 31日
所在地	福島県南相馬市小高区飯崎字南原101番地の8
代表社員	平岡 雅康
従業員数	4人(役員1名、アルバイト・業務委託3名)
資本金	30万円
業務内容	<ol style="list-style-type: none">ものづくり(衣料品/腕時計/日用雑貨)の企画・デザイン業務福島県産品の販売業務(ローカルライフスタイルストアKIRAの運営)



2. 実施内容

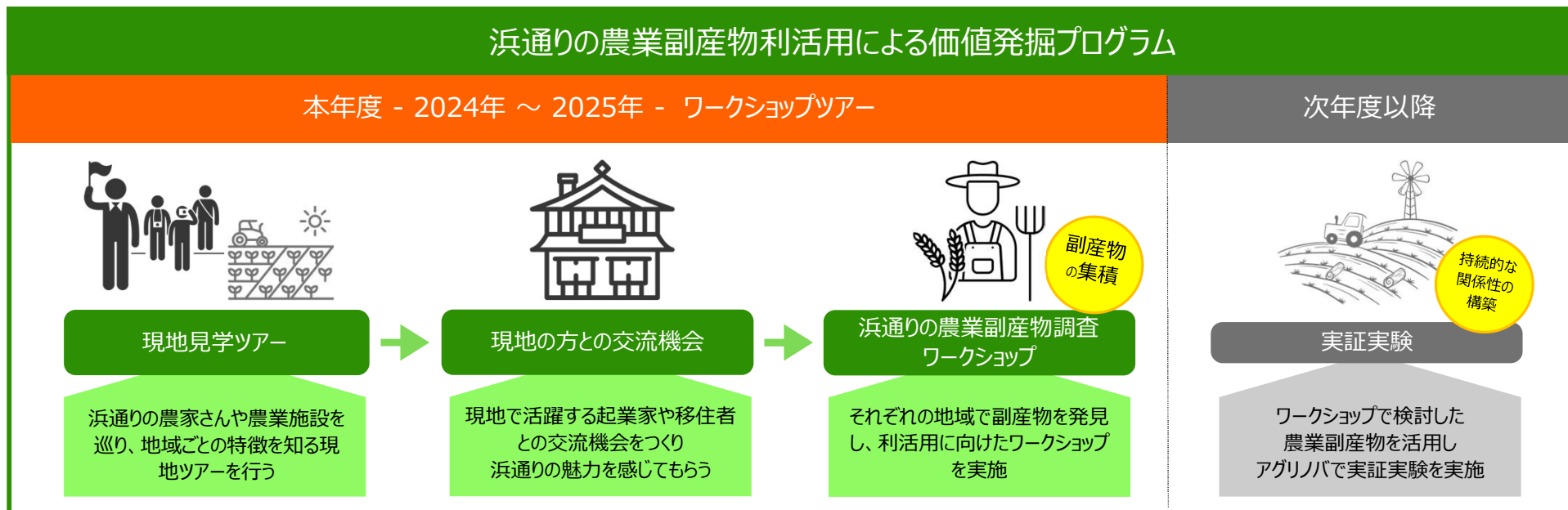
実施内容

福島イノベーション・コースト構想の重点分野の一つである「農林水産業」をスコープに、主要な取り組みを通じて、「イノベ地域の価値向上」と「イノベ機構の担い手確保」に繋がる取り組みを行う。



実施内容

本年度の取り組みとして、イノベ地域にある農業副産物を集積し、利活用による新たな価値向上を探るワークショップツアーを実施する。



本年度(2024年~2025年)の実現目標

- ・首都圏を中心とした交流人口の拡大（学生・社会人）
- ・浜通りの農業副産物の出る事業者やアグリノバ周辺の現地の方との関係構築

次年度以降

ツアー参加者の中でも、本事業に意欲的な方を中心に実証実験を実施し、持続的な関係性の構築を図る。

価値発掘プログラムの実施 | 参加者募集

参加者募集用チラシを作成し、農業に興味・関心のある首都圏の学生や社会人を対象とし、参加者を募集した。

参加者募集用チラシ

参加者へのご案内

1泊2日のワークショップツアー

福島県浜通りの「農業副産物」を知る

HANDS合同会社は、「農林水産業」をスコープに、「イノベ地域の価値向上」、「イノベ構想の担い手確保」に繋がる取り組みとして、価値発掘ワークショップツアーを開催いたします。本ツアーでは、農業副産物の活用による新たな価値を探るため、実際に農家さんや農業施設を巡り事業者とヒアリング、現地で活躍されている方との交流を通じ、イノベ地域の農業の現状について深く理解し、農業副産物の活用について考えます。



福島 イノベ地域の価値発掘ワークショップツアー

11月16・17日 / 12月14・15日

体験できる3つのポイント

I 現地見学ツアー

イノベ地域の農家さんや農業施設を巡り、地域ごとの農業の特徴を知ることができる。

II 地域交流

現地で活躍する起業家や移住者と交流し、イノベ地域の魅力を知ることができる。

III 農業副産物調査ワークショップ

それぞれの地域にある農業副産物を知るとともに、活用について参加者と一緒考えることができる。

DAY1

★ 移動(東京→南相馬 / 原ノ町駅集合)
*昼食は各自でお願いします。

● 現地見学ツアー①
(広野 / 浪江)

☾ 現地で活躍されている方との交流会・宿泊



DAY2

★ 現地見学ツアー②
(小高 / 浪江)

● 原ノ町駅前周辺散策
農業副産物調査ワークショップ

☾ 移動(原ノ町→東京 / 原ノ町駅解散)



※行程は変更の可能性があります。

● ツアー実施概要

日 程 1回目:11月16日(土)・17日(日)
2回目:12月14日(土)・15日(日)
1・2回目のいずれかにご参加いただけます。

定 員 各回8名

料 金 参加費無料(現地までの往復交通費・現地での宿泊費を除く費用は各自負担)

その他 イノベ地域の価値発掘ワークショップツアー・本事業に関するアンケートや、SNS発信にご協力ください。

参加者一覧

参加回	#	年代	性別	所属
11月	1	20代	男	明治大学
	2	20代	男	SCSK株式会社
	3	20代	男	TOMAS
	4	20代	女	明治大学
	5	20代	女	社会人
12月	1	20代	男	武蔵野大学
	2	20代	男	法政大学
	3	20代	女	慶應義塾大学
	4	20代	男	慶應義塾大学
	5	20代	女	法政大学
	6	20代	男	法政大学
	7	20代	女	法政大学
	8	20代	女	社会人
	9	20代	男	社会人
	10	20代	男	社会人
	11	20代	男	成城大学

福島イノベーション・コースト構想推進機構が主催するイノベ地域来訪者受入体制構築事業
「地域の価値向上に向けたブラッシュアップ事業」にHANDS合同会社の事業が採択され、本取り組みを実施いたします。
運営:HANDS合同会社 / 担当:平岡雅康 / 問合せ先:hiraoka@hands-llc.com

実施スケジュール



ワークショップツアー 工程表

11/16 (土)	～12:00	12:00～13:15	14:00～15:00	16:00～17:00	19:00～21:00
	東京駅 → 原ノ町駅 07:53発 → 11:31着 原ノ町駅 → 小高駅 11:59発 → 12:08着	昼食@小高 小高駅前周辺散策	現地見学ツアー① トロピカルフルーツミュージアム (広野町) 広野町産バナナの栽培現場の視察	現地見学ツアー② 幾世橋協同組合(浪江町) 浪江町産蕎麦栽培の視察	夕食@殿ノ村(南相馬市) 現地の方との交流会 @殿ノ村(南相馬市)
		荷物は双葉屋旅館	移動:車	移動:車	宿泊先:殿ノ村
11/17 (日)	09:00～10:00	10:30～11:30	12:00～14:00	14:30～16:30	17:00～
	現地見学ツアー③ コヤギファーム(南相馬市) 南相馬市産ワイン用ぶどう栽培の 現地視察	現地見学ツアー④ アグリサポートふたば(浪江町) 浪江町産プロッコリーの 現地視察	昼食@道の駅浪江 その後、南相馬市へ移動 原ノ町駅前周辺散策	浜通りの農業副産物調査 ワークショップ @南相馬市民情報交流センター小会 議室	原ノ町駅 → 東京駅 (いわき経由) 17:28発 → 21:44着 or 原ノ町駅 → 東京駅 19:06発 → 22:44着
出発時双 葉屋旅館 チェックア ウト	移動:車	移動:車	移動:車	情報交流センター 14時～17時で予約 施設が17時に閉館するので、それまでに完全 撤収	解散

価値発掘プログラムの実施 | ワークショップツアー実施



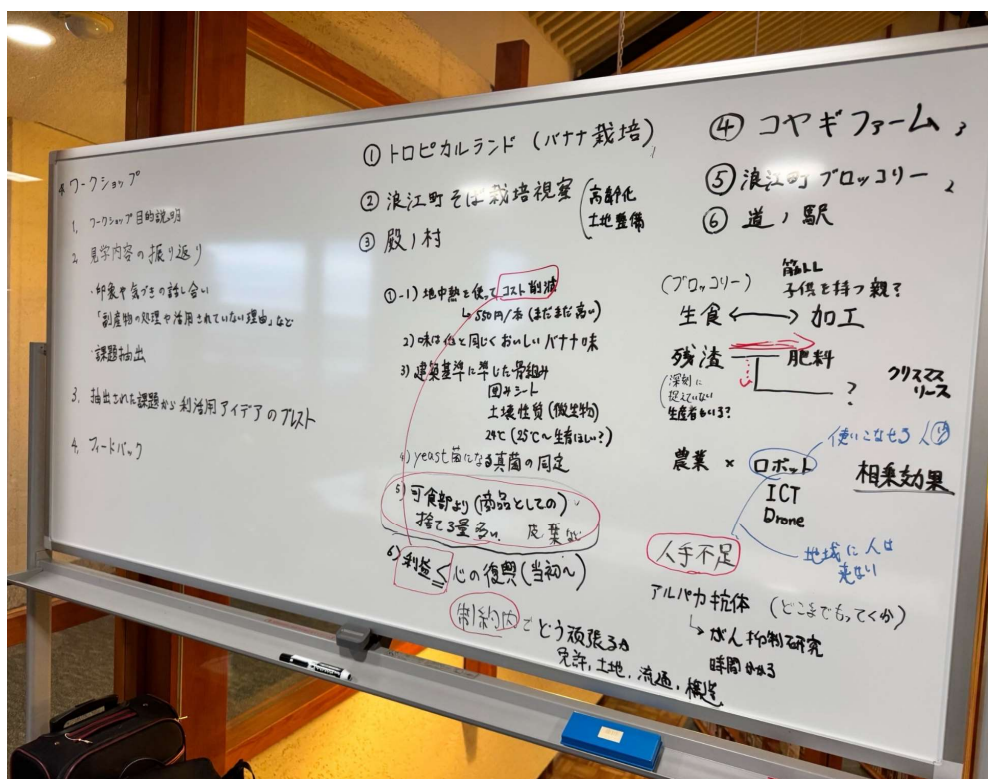
ワークショップツアー中の様子。



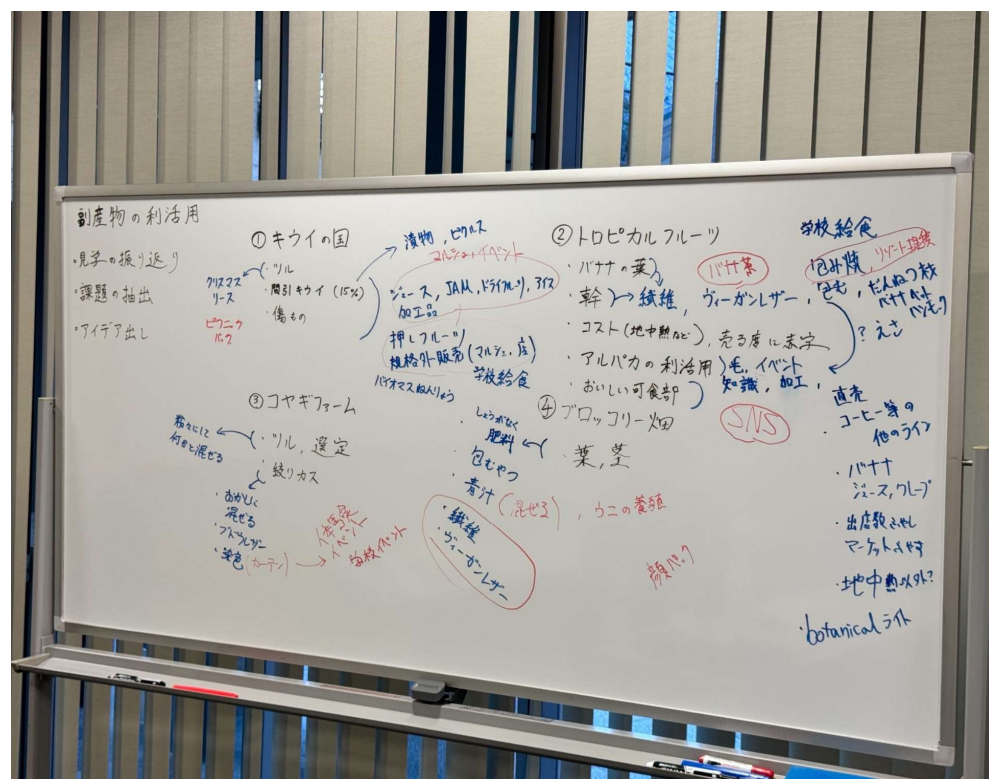
価値発掘プログラムの実施 | ワークショップ結果

ワークショップツアー後に、参加者全員で訪問先を振り返り、訪問先ごとの農業副産物の利活用の方法を検討した。

11月回



12月回



価値発掘プログラムの実施 | ワークショップ結果

ワークショップで出たアイデア。

- ・ バナナの葉や茎、ぶどうの絞りかす ⇨ ヴィーガンレザー
- ・ ブロッコリーの茎・葉 ⇨ 化粧品、プロテイン
- ・ キウイ、ぶどうのツル ⇨ 籠、バック、リース
- ・ 規格外のキウイ ⇨ 漬物（ピクルス・福神漬け）

③ アンケート結果の収集・分析（ツアー直後）

福島県浜通りワークショップツアーの成果と参加者の声

参加者の **満足度平均**

4.9/5

回答が得られた15名により算出

➤ 特に満足度が高かったプログラム

01 農業副産物調査ワークショップ

02 伝承館・請戸小学校・村上海岸訪問

03 現地で活躍されている方との交流体験

➤ 一番印象に残った場所やことは何ですか？

広野町広野町振興公社（広野町/バナナ）

- 心の復興を目指している姿に感銘を受けたから。
- 新しい農業の形を取り入れつつ、その副産物も利用した商品化を行い、地域を活性化させよう取り組まれている、面白かった。
- 利益だけではないビジネスの動機も知れたから。

現地で活躍されている方との交流体験（殿ノ村）

- 南相馬についての理解、愛着を深めることができたから。
- 地域の伝統だけでなく、南相馬で暮らすことに対する具体的なイメージまで膨らませることができたから。
- 自分の知らない地域の話を知ることができたので楽しめたから。



単なる観光では得られない能動的な学びを得ることができたこと、直接地域の人とも交流できたことが参加者の興味・関心を一層増幅させ、高い満足度に繋がったと可能性がある。

③ アンケート結果の収集・分析（ツアー直後）

参加者からの提案と今後の取り組み案

➤ 参加者の方からのご感想・ご意見

感想

日頃考えることのない産業廃棄物の利活用という切り口から関わり、農業課題を自分事として捉えられるようになった。

ワークショップのイベントだけでなく、こちらを楽しませようと、海やBBQなど様々な企画をしてくださったことで、さらに楽しむことができた。また参加したい。

意見

震災遺構（伝承館など）や被災地をもっと深く知ることができるコンテンツをもう少し増やしてもらえたら良いなと思った。

農業以外の分野として、ロボットなど先端産業や実際に被災地で活躍している産業についても見学できる機会も体験してみたい。

➤ 持続的な実装に繋がる改善ポイント

イノベ地域の取り組みに関心がある

エシカルな社会やサステナブルに興味がある



潜在ターゲット

ポイント①

被災地を知り復興事業を学べるツアー

ポイント②

農業テーマを含む人や地域との繋がりを感ずる体験イベント

地域交流を深め
観光と社会課題解決の
融合モデルに

3. 今後の展望

今後の展望

イノベ地域ならではのツアーへブラッシュアップ°

- ・伝承館や請戸小学校など震災遺構を見学し、災害について知る。
- ・復興を担う新しい産業に触れる。
- ・環境に配慮した産業の見学や農業の副産物を活用した体験をする。

イノベ地域 × 産業 × 復興事業 × サステナブル